

お金や趣味の重要度が上昇

若者の中でこの十数年間、お金やプライベートの重要度が高まっている。

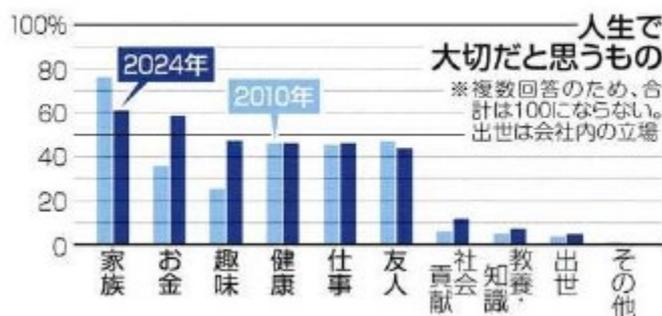
百五総合研究所は4月、県内企業などの新入社員にアンケートをし、169人が回答。「自分の人生で大切だと思うもの」を尋ねたところ、1位は「家庭」(60.9%)、2位は「お金」(58.6%)、3位は「趣味」(47.3%)となった。

2010年度の調査結果と比べると、5位だった「お金」は22.8ポイント、6位だった「趣味」は22.0ポイント上昇し、上位に浮上した。

現在の就職先に決めた理由の1位は「仕事内容」(51.5%)、2位は「自宅通勤ができる」(26.0%)、3位は「休日の曜日や日数」(24.3%)となった。10年度と比べると、2位までの項目の順位は変わっていないが、「休日の曜日や日数」は7.6ポイント増と最も上昇した。

人手不足に悩む中小企業などは労働力確保のためにも、社員のプライベート充実を図る必要があるようだ。一方で、単純に休みを増やすだけでは業績向上は見込めない。社会人が大学などで学び直すリカレント教育に取り組む社員に企業が補助金を出すといった、仕事とプライベートの連動による相乗効果を狙うなど、柔軟な働き方を取り入れることも求められるだろう。

(会員事業部 主任研究員 奥田 千夏)



※グラフは中日新聞記事より転載

中日新聞「データを読む (百五総合研究所 奥田千夏さんに聞きました)」

2024年7月18日